

聖隷こども園こうのとり富丘

【教育・保育理念】

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の保育・教育を目指します。

＊愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。

＊一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。

＊自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。

＊在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てができるように支援する。

【施設目標】

子どもたちの“今”が未来を創る～“その人らしく・その家族らしく”未来を描けるように～

【2021年度の重点目標】

- ・園の子どもたち一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることをお互いに認め合って過ごすことができるよう、教育・保育の環境を整える。
- ・全体的な計画の重点目標の一つである『統合保育・多文化保育を通した人権を大切にする保育』に着目し、こども園・児童発達支援・訪問看護を併設する園として、「教育・保育・療育・看護ケア」を生かし、保育を展開していく。
- ・多職種の職員がお互いの実体験をもとに語り合い、複数の視点を持ち、視野を広げ、支援に活かす。

評価項目別の達成及び課題状況項目	自己評価・課題
第4章 保育の計画及び評価 3. 保育の内容の自己評価	自分自身の保育の課題を客観的に見つけることが苦手であると感じている職員が多い。保育士ラダーや目標参画等、自己の保育の振り返りができるシステムを有効に使い、園全体でよりよい保育を目指していけるよう努める。

『新キリスト教保育指針より』 第2部 キリスト教保育を実践する I 保育を支える礼拝 3. 礼拝の流れ 4. 園生活での祈りと感謝 第3部 保育を共に創る V 保育者として生きる 1. 礼拝と保育者 2. 子どもと守る礼拝	保育の中で子どもたちと共に礼拝を守ったり、お祈りをしたりする時間を、職員一人一人が大切に、職員自身にとっても心落ち着く心地よい時間となっている。 キリスト教保育に携わる者として、職員自身も神さまから守られている存在であることを感謝し、今後も子どもたちや保護者にも大切な存在であることを伝えていけるよう、努める。 礼拝やお祈りについて、『落ち着く』『心地よい』『神さまと対話をする』時間と感じている職員が多い。経験年数の浅い職員については、教会を訪れたことがない職員も多く、保育の中でも子どもたちと共に牧師の話を聞いたり、教会を訪れたりする機会をもっていく。 “ちがい”を認め合いながら、個々を大切に、ひとりひとりに寄り添ったていねいな保育を常に心がけ、学ぶ姿勢を持ち続けていく。
---	---